

2024年10月30日

日清製粉グループ 第2四半期(中間期)連結決算、通期連結業績予想

当中間期は増収増益。業績予想に沿って順調に進捗。中期経営計画の数値目標を上方修正し、資本政策も見直し。通期業績予想は政策保有株式の更なる縮減により、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正。配当は直近予想より5円増額し、1株あたり年間55円を予定。

[2025年3月期中間連結会計期間決算]

売上高	4,295億13百万円	(前年同期比100.6%)
営業利益	260億10百万円	(前年同期比102.0%)
経常利益	270億76百万円	(前年同期比102.1%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	203億63百万円	(前年同期比110.4%)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2025年3月期中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は海外製粉事業における出荷増及び為替換算影響、酵母・バイオ事業における販売増等により、4,295億13百万円(前年同期比 100.6%)となりました。利益面では、各事業において原材料費や輸送費、労務費等のコスト上昇が継続する中、海外製粉事業及びメッシュクロス事業の業績が堅調に推移したこと等により、営業利益は260億10百万円(前年同期比 102.0%)、経常利益は270億76百万円(前年同期比 102.1%)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益の計上もあったことにより、203億63百万円(前年同期比 110.4%)となりました。

[中期経営計画の数値目標等の見直し]

「中期経営計画2026」の最終年度である 2026 年度の数値目標を売上高 9,500 億円、営業利益 570 億円、EPS(1株当たり当期純利益)140 円、ROE8.0%に上方修正し、併せて、資本政策(株主還元、政策保有株式)の見直しを行いました。株主還元につきましては、配当方針を連結ベースでの配当性向「40%以上」から「中期経営計画2026」の最終年度までに「50%目安」へ引き上げるとともに、政策保有株式の縮減目標につきましても、今後5年間(2024 年度~2028 年度)で 400 億円以上、年平均 80 億円程度とすることで、更なる縮減に取り組んでまいります。

[2025年3月期通期連結業績予想]

2025年3月期の連結業績予想につきましては、政策保有株式の更なる縮減を織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益を 390 億円(前期比 122.9%)に上方修正しております。なお、売上高、営業利益及び経常利益は、本年7月 31 日に公表した業績予想を据え置いております。

また、当期の配当につきましては、期末配当を直近予想より5円増額し、1株当たり年間 55 円(前期より 10 円増額)を予定しております。これにより、実質的に 12 期連続の増配となる予定であります。

以上